

その「物語」、の物語。

「ペログリ」的複眼思考の味わい vol.066

a taste of Ya'ssy

田中 康夫



たなかやすお●'56年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。
'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選、
'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。【公式ブ
ログ】www.nippon-dream.com/

「再稼働反対」を掲げ首相官邸前に参集した 党派性とは無縁の自主自律的なムーブメント

今週の逸品



ロス・プラトスのパエジャ 2400円

スペインを標榜し、時流に迎合する新参者とは異なる。適価で供する晚餐は3800円～7600円の4コース。5800円はタパス盛り合わせ、カツオとポテトの土鍋煮バスク風、若鶏モモ肉のガーリックソース、カタロニア風イカ墨のパエジャ。6600円はセラーノハムとチョリソの盛り合わせやロス・プラトスのパエジャを堪能。スペインワインも豊富。月替わり推奨ワインはデカンタでも可。

【ロス・プラトス】東京都港区赤坂6-2-12 サージュ赤坂1F ☎03-3505-5225 平日11:30~14:00、17:30~23:00 (LO22:00)、土曜17:00~22:00 (LO21:00) 日祝定休 <http://losplatos.jimdo.com/>

Illustration by Hajime Anzai

一人ひとりが、出来る事を出来る時に出来る所で出来る限り。智力を出すのも財力を出すのも体力を出すのも、その行為に優劣の差は有りません。阪神・淡路大震災発生4日後からのウォラントイア活動で体得した信念です。主催者発表で4・5万人、警視庁発表でも1・1万人。先週金曜の夕刻、首相官邸前に自らの意思で、数多くの人々が参集しました。畏友・岩上安身氏が主宰の「WJ Independent Web Journal」から流れる中継映像を眺めた僕は、

大震災翌年の'96年10月20日に30万人のベルギー国民が参加した「純白の行進」を想起しました。複数の少女が誘拐・凌辱・殺害された事件の犯人を、何故か「庇護」する対応を続けた警察・検察・司法機関への疑念が深まる中、犯人は国際的なベドフィリア小児性愛組織の頭領格で、会員には政治家、企業家、弁護士等が名前を連ねていたと判明します。子供連れの若夫婦を始め老若男女が日曜日、首都ブリュッセルの街路を埋め尽くします。拳を振り

上げシユプレヒコールを挙げるでもなく、警察発表で27・5万人の人々は白い風船を手にして歩き続けたのです。国鉄は郊外から臨時列車を運行し、民間駐車場の多くも無料開放されました。写真入りで報じた当時の新聞記事を映し出し、講演で言及する度に今でも、涙腺を制御し得ぬ自分に陥ります。如何なる為政者の演説も及ばぬ偉力を、人間は表出可能なのだと感銘を受けて。奇しくも東日本大震災翌年の6月22日、凡そ党派性とは無縁の自

然発生的で自主自律的なムーブメントとして、永田町に1万人が集いました。ツイッターを通じて開催を知った参加者は、1箇所に滞留する事無く、16年前のブリュッセルと同じく歩き続けたのです。「再稼働反対」と口にしなから。首相官邸の真向かいには、護送船団記者クラブの面々が便宜供与を受ける国会記者会館が存在します。NHKを始めとする大半のTV局は黙殺しました。経費節減の影響で、撮影出来なかったのかも知れません。翌日の新聞も讀賣・日経は黙殺しました。無かつた事として葬り去られたのです。而して、首相官邸で同時間帯に開催の電力需給に関する検討会合終了後に枝野幸男氏は憔悴と、細野豪志氏も忙しいとのみ言い置いて、黒塗りの車に乗り込みます。「再稼働反対」の声は建物内にも木魂^{たま}していたにも拘らず。「動物農場」「1984年」を上梓したジョージ・オーウェルがファシズム軍に抗う義勇兵として赴いたスペイン内戦と同様に最早、都合な真実^{マホウ}として抑圧・隠蔽し続けられる訳もないのに。赤坂の地で38年、ロス・プラトスは僕が学生時代から、家庭教師の給金を貰うと往時の交接相手と出掛けた時空。「ゲルニカ」の惨劇を乗り越え、自由を勝ち取ったバスク地方の匂いを仄かに漂わせる落ち着いた隠れ家的逸軒です。